

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジ ROAD

2015年
夏号
vol.6

INDEX

- ◆名古屋市総合リハビリテーションセンター説明会を開催しました
- ◆合同就職説明会を開催しました
- ◆ロボット関連事業報告会を開催しました
- ◆平成26年度業務研究等事業の報告
- ◆講演会を開催しました
- ◆トイレ改修を行いました
- ◆イベント情報
- ◆募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



名古屋市総合リハビリテーションセンター 説明会を開催しました



平成27年6月17日（水）に、名古屋市総合リハビリテーションセンター大研修室で、名古屋市総合リハビリテーションセンター説明会を開催しました。

この説明会は、当センターで行われている障害のある方に対する一貫した支援の流れを関係機関の職員の方々に紹介するために、初めて開催したものです。

センターの事業や支援の流れの説明のあと、高次脳機能障害支援部門、看護部門、リハビリテーション部門、自立支援部門の各部門の支援内容についてご紹介しました。その後の見学では、実際の訓練の場でそれぞれの部門の担当者が説明を行いました。



白井智之センター長あいさつ



全体の概要の説明



各部門の説明



見学



利用手続き説明、質疑応答



参加者は、医療機関のソーシャルワーカーや障害者基幹相談支援センターの相談支援専門員の方を中心とした27名でした。参加者アンケートでは「患者様に説明しやすくなった」「定期的に開催してほしい」との感想をいただきました。今回開催して良かった点、改善すべき点を今後の説明会の企画に活かしていきたいと考えています。

合同就職説明会を開催しました

平成27年8月18日（火）、20日（木）に、名古屋市総合リハビリテーションセンターで、当事業団へ就職を考えている方を対象に合同就職説明会を開催しました。この説明会は、当事業団の階層別研修の一つである課長・リーダー職員研修の中で提案・企画されたものです。



前年度までは、職種ごとに見学や説明会を行っていましたが、今回は当事業団の特徴である相談から医療、訓練、社会復帰までの一貫した支援の流れを知っていただくため、

①今年度採用試験実施予定である4職種（事務・社会福祉職、理学療法士、作業療法士、看護師）について合同で行うこと

②体験型の見学を入れること

に重点を置いて実施しました。

事業団の概要や採用試験の説明後の「職員の話」では、5課の職員が「新しいことに挑戦していくという雰囲気があります」「自分の生活設計を考えながら働ける職場です」「医療や福祉に関わるさまざまな専門職と連携しながら仕事をしています」など、話をしました。



「体験型施設見学」では、1グループ6人程度でグループをつくり、①ドライビングシミュレーター体験（作業療法科）②病院食試食（看護科）③介護ロボット・福祉用具体験（なごや福祉用具プラザ）④創作系メニュー体験（生活支援課）の4つの体験と施設見学を行いました。今回の就職説明会では、職員の話や体験を通じて、事業団のことをより感じていただけたのではないかと考えています。

採用試験実施の最新情報は、事業団ウェブサイトに掲載しますので、ぜひご覧ください。

事業団ウェブサイト

<http://nagoya-rehab.or.jp>

ロボット関連事業報告会を開催しました

平成27年6月24日（水）に、名古屋市総合リハビリテーションセンターでロボット関連事業に関する報告会が開催されました。

事業団では、平成25年度から福祉用具・介護ロボットに関する厚生労働省・経済産業省等の事業を、企画研究室、なごや福祉用具プラザ、理学療法科、作業療法科等と共同で行ってきました。

報告会は、メーカー、行政、福祉施設、関係機関等の参加者を中心に25名ほどの参加がありました。

昨年度行ったi-PAL導入における課題と改良点の報告、富士機械製造株式会社の移乗サポートロボットの開発過程の紹介がされました。課題として、メーカーは現場の状況の理解や協力施設を探すのが困難であること、介護施設は職員が時間や手間が増えると考え移乗機器の使用を敬遠することが多いことが挙げられていました。事業団等の仲介者が、その間に入り、情報提供や使用方法の提案などを通じて、スムーズな導入を図ることが求められています。



後半はさまざまな介護ロボットの展示会が行われ、報告会の参加者に加え、40名以上の職員が参加しました。実際に機械に触れたり、メーカー担当者と話のできる機会は少ないため、移乗機器に乗ったり、歩行車をpushしてみたり、アザラシや赤ちゃんのロボットを抱っこしたりと、会場は大盛況でした。

まだ発展途上の介護ロボットですが、メーカーが現場を知ること、利用する職員が自ら活用法を考えると、そしてそれを仲介者が後押しすることで、より良いものができていくと考えています。

平成26年度 業務研究等事業の報告

7月13日に、平成26年度業務研究等事業の報告会を開催しました。この事業は、質の高いサービスを提供する基盤となる研究等を推進し、職員の職務能力等の向上を図るために行うものです。今回は、4人の職員が報告を行いました。

①新しいPETカメラを用いた検査のnormal controlの構築 (放射線診断部 飯田昭彦)

PETカメラの更新に伴い、 ^{15}O -gas、 ^{18}F -FDG、 ^{18}F -DOPA、 ^{11}C -Racloprideの主要な4検査について、健常者の男女6～7例ずつについて正常コントロールデータを収集した。一部過去の機種 of 検査値や文献値との差があるが、今後PET検査による診断の基準として使用していきたい。

②高次脳機能障害者の作業遂行特徴に関する研究 一箱づくり法を用いて一 (作業療法科 伊藤竜二)

作業能力の評価に用いられている箱づくり法を、高次脳機能障害者21名、一般成人23名に実施した。各辺5cmの箱を早くきれいに作るよう指示した結果、出来栄は遜色ない箱を作成することができたが、箱作成に要した時間配分や取り組み方などの過程に差が認められた。

③シーメンスPET画像と島津PET画像の画質評価 (放射線診断科 満島岳珠)

PETカメラの更新に伴い、同様の条件で撮像したファントム画像の視覚評価と画像の数値評価を新旧の装置で比較した。視覚評価では明らかに新機種（シーメンス）が優れており、数値的評価においてもほぼ全ての指標で新機種が優れた結果となった。

④失語症者及び家族に対する支援 一失語症者の参加支援を目指して一 (言語聴覚科 諸岡雅美)

介護保険の通所事業所に対し、失語症者へのサービスと職員の意識について調査を行った。通所リハと通所介護ではSTの配置に差があり、失語症者に関わる職員がコミュニケーションに困っている実態と、講習会への参加希望が多いことがわかった。

なお、平成27年度に実施されている業務研究等事業は以下の通りです。

- ①PET-GAS定量検査における視野外放射線に対する体幹部シールドの効果検証 (放射線診断科 林絵美)
- ②当院でのHANDS療法の効果検証 (作業療法科 神戸久美)
- ③回復期リハビリテーション病院における併設事業の実態調査 その2 ～訪問調査による地域ニーズの解明～ (生活支援課 平野尚孝)
- ④頭部MRI画像の各種標準化法の比較 (企画研究室 日比野新)





講演会を開催しました

平成27年7月31日（金）に、名古屋市総合リハビリテーションセンターで、鈴木智敦氏（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活支援推進室相談支援専門官（当事業団から転籍出向中））を招き、講演会を開催しました。

参加者は、当事業団と関係機関の職員の約100名で、講師から、相談支援の経過と現状、障害福祉サービス等の報酬改定から見る全体の動向と今後の見直しについて、お話をいただきました。

この中で、現状の課題を国の施策に活かすためには、現場の声を施策設計に関わるところへ伝えることが大切だというお話がありました。そのために、職員は他事業所等を見たり、情報交換をしたりして、広い視野を持ち、発信できるようにならないといけないと考えています。

トイレ改修を行いました

平成26年度から行っていた障害者支援施設（名古屋市総合リハビリテーションセンター3階）のトイレ改修工事が完了しました。

多目的トイレ（写真右）は、壁と床も新しく改修しました。とても明るく、清潔感のあるトイレとなりました。



集合トイレの個室（写真下）は、水洗いが必要だった床を乾式にしました。個室で手洗い、乾燥、

尿瓶洗浄ができるようになり、機器配置の見直しにより、個室が広く使えるようになりました。

当センターは、建築から約30年が経過しています。施設環境の快適性向上のため、平成25年度には、病棟（当センター2階）のトイレ改修を行いました。

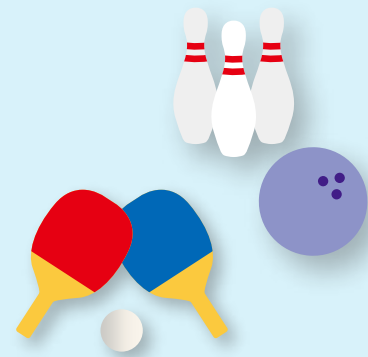
今後も安心、安全で、快適な環境を提供するため、建物や設備の改善に努めていきたいと考えています。



イベント情報

●名古屋市障害者スポーツ大会

- ①卓球の部 平成27年11月15日（日）
- ②ボウリングの部 平成27年11月22日（日）



対象者、申込方法等詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

問合：名古屋市障害者スポーツセンター

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

●家族介護者教室

「自宅で安心して暮らすために」

対象：介護をしている方、介護に関心のある方。

東部・北部・西部・南部・中部で実施。各4回。

- ①転ばぬ先の福祉用具と住宅改修
- ②高齢者の正しい食べ方と飲み込み方
- ③快適な排泄のためにできること
- ④在宅でできること～在宅医療と福祉用具～

日時、申込方法等詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

問合：なごや福祉用具プラザ

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056



事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」

▶現在募集中

正規職員 看護師

嘱託職員 作業療法士、生活支援員補助

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

総務部総務課 採用担当

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト <http://nagoya-rehab.or.jp>



事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター

・福祉スポーツセンター

・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

西部リハビリテーション事業所

〒453-0855

名古屋市中村区烏森町六丁目298番地

電話：052-486-2400 FAX：052-471-3710